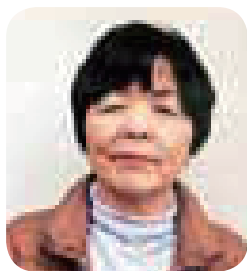


今月の山柳



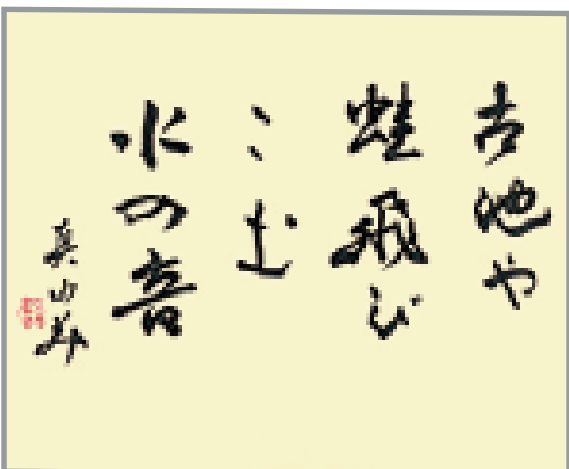
春爛漫、天に桜、地に菜の花が咲き競い、蝶は舞い小鳥は歌う、その中で花達の息づかいが聞こえてくるような、年寄りにても、一年中で一番楽しく嬉しい季節がやって来ました。

八女川柳会 安達 昇



筑後市西牟田

田島 眞由美



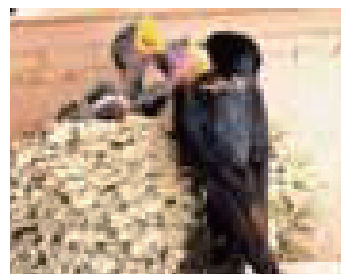
今月の色



黒

最古の色名の一つ。最も暗い色の総称。語源は暗い、暮れるという説が多いです。

視覚デザイン研究所「和の色のものがたり」より



南国で冬を過ごした燕たちが帰ってくる季節。燕尾服の名の由来という黒い背中と白いお腹、高速で飛び回り急旋回する姿は早いものの代名詞として、JR特急つばめや新幹線つばめ号にも命名されている。私たちの暮らしの中にもなじんで、油断すると倉庫や車庫、軒下などに巣をつくるやつかい者である。燕が巣をつくと縁起がいいとか、巣のある家は栄えるといつて先人は昔から燕を大切にしていた。大きな口をあけて餌をねだる雛たち、次々に餌を運ぶ親たち、間もなくそんな光景が見られる。

お釈迦さん

4月8日は花まつり「お釈迦さん」です。今もお釈迦様の像の頭から甘茶をかけてお参りする行事が続いている所を見かけます。

お釈迦さんといえば天道花と甘茶を思い出します。

子供のころ、物を仲間からもらったら、「オ天道サン オ天道サン二見一セタ」とかざして素早く唱えます。もらっても、前言を翻して取り戻されることもあるわけです。

証としてまずお天道さんにかざして見せておけば、絶対にもう取り戻せないと言う子供同士の掟がありました。また「お天道さんに面向けされんごたるこた すんな」とも戒められたものです。「お天道さん」は絶対の権威を意味し、「天竺」は無限の象徴でもあったのです。

又甘茶で髪を洗うと髪が黒くなる、顔を洗うと出来物ができないと言



ます。これで墨をすって字を習うと、上手になると言います。いくら言い伝えとはいえ、信じ得るということは昔の人にとって一つの救いではなかったのでしょうか。

時代は変わっても、心の拠り所として何か一つぐらいいは信じられるというものが欲しいものです。

「八女の方言」内山一兄・郷田敏男著より

教師道

⑬

森下 計二

「通学路の（おじ）さんへ いつも見守りありがとう」

そんな文字が印刷されている手紙を今年六年生で登校班長になる男の子からもらいました。学校で渡すようにいわれたらしい。

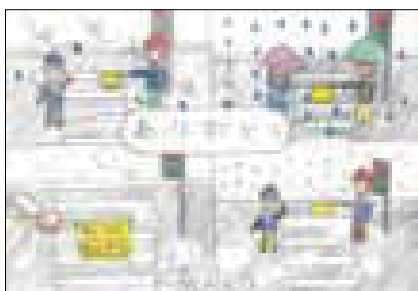
「雨の日も風の日も、雪の日も毎朝、僕たちのためにあいさつしてくれてありがとう。あと、ゴミ拾いや草取りをして、道路の横断を守ってくれてありがとう。僕たちも、全員無事に進級して新しい学年になりました。これからがんばって勉強するので、よろしくお願いします。おじいさんも体に気をつけて元気にいてください。」

中にそう鉛筆で書いてありました。

見出しのかつこの中は「おじいさん」となっているのに、手紙では「おじいさん」に、思わず苦笑いでしたが、ひさしぶりのうれしい手紙です。教師生活が長かった私は、四月の新学期のすがすがしい気分をいつも楽しんでいました。新しい学年、新しく担任する子どもたち、そして新しい教科書。何もかもまた一から始めることができそうです。

通学路回

りの喜びもまた、そんな時代の思い出なのか、も知れませんが、みんな、交通安全に気をつけて、明るく帰ってきてね！



4月の道の駅たちばな



道の駅 たちばな 立花町下辺春国道3号線沿 TEL 0943-37-1711

こんにちは。
筑後警察署です。

⑤⑥

新入学、新学期を前に、子どもの
犯罪被害予防についてまとめました。

全国で子どもに対する声かけや、つきまといといった事案が相次いでおり、これらの被害を防止するためには、日ごろから子ども自身が犯罪の被害にあわないための心構えを身につけておくとともに、保護者や地域の方で、子どもの安全を守るために気を配っていくことが重要です。

【子どもに教えておくべきこと】

- ① 見えにくい場所や暗い場所等、危険な場所に近づかない。
- ② 子ども110番の家など、いざという時に逃げ込める場所を知っておく。
- ③ 外へ出かけるときは、家族に行き先と帰る時間を告げるようにする。

【保護者や地域の方へのお願い】

- ① 子どもが集まる場所に目を配る。
- ② 一人にいる子どもに目を配る。
- ③ あいさつ等、普段から子どもに声かけをしておく。
- ④ 危険な場所にいる子どもに声をかける。

住民同士の強い絆で、地域から犯罪者を追い出し、子どもが安心して暮らせる地域づくりを目指しましょう。

